

報道関係各位



2019年5月22日

第25回参議院通常選挙東京選挙区国民民主党公認候補予定者

「水野もとこ」スピーチ概要

本日はお集まりいただき、ありがとうございます。ただいまご紹介をいただきました、参議院選挙に東京都選挙区から、国民民主党公認で立候補する「宇宙かあさん」こと、水野もとこです。宜しくお願いします。

政治家になるには、地盤・看板・カバンが三種の神器とされますが、私には何もありません。「宇宙かあさん」は、無名の新人「水野もとこ」の人となりを知ってもらうため、仲間がつけてくれたニックネームです。気に入っています。

政治家になろうと決意した理由は2つあります。

一つは、宇宙機関で働いたキャリアの中で、日本の未来に不安を感じたこと。そして、もう一つは、二人の子育てをする母として、暮らしの中で、「日本の今」に多くの課題や壁を感じたことです。

このままでいいのか？ 政治で解決すべき課題がまだまだ多くあるのではないのか？ 自分はそれを他人事のようにただただ傍観していいのか？ 国民民主党からお声がけをいただいた時、子どもたち・未来に対する危機感・責任感が、私を後押しするきっかけとなりました。

今、私たち国民が政治からすっかり置き去りにされています。政治を国民の手に再び取り戻すためには、未来を見つめて新しい答えを提示し、是々非々で堂々と議論する国民民主党の果たすべき役割が大きいと私は信じています。

私は宇宙機関で25年間、イノベーションや産業競争力のための法政策検討、NASAなどとの交渉による宇宙ステーションの開発、堀江貴文さんに象徴されるベンチャーの促進などを担当しました。そして、国の羅針盤が機能不全を起こしており、「未来への不安」に対する答えをしっかりと指し示す必要を強く感じました。

一方、母としての「日本の今の課題」は、女性の就労や子育て環境です。最近さまざまな政策が出ていますが、まだまだ足りません。5年前に長男が小学校に入学する時、私の自治体の学童クラブは保育園より1時間以上早く6時に終了するので、私は通勤で間に合いません。「入学と同時に寂しい思いをさせたくない！」と同じ課題をもつ家庭に呼びかけ、1300人以上の署名で7時までの開所を実現しました。そのような課題はまだまだ多くある

と思います。

「宇宙かあさん」は、水野もとこが宇宙機関で社会人として感じてきた課題と、そしてかあさんとして生活人として感じてきた課題の両方に取り組む姿勢を表したものです。私は毎日通勤電車の中でお母さんから社会人に変身し、帰りにまたお母さんに戻ります。

しかし今、さらにバージョンアップした「宇宙かあさん」に進化し、これまでの経験を政策として示し、日本を立て直す、そんなイメージです。

そんな「宇宙かあさん」こと、水野もとこのモットーは、

- ①今と未来の笑顔を守る
- ②政治を国民の手に取り戻す
- ③東京から日本を進化させる

です。

この3つの理想の下で、私は当面、3つの課題に取り組んでまいります。

1. 防災、年金、医療、介護など国民の安心を立て直す。
2. 子育て支援や教育など、労働者・女性・子どもを全力でサポート
3. イノベーションと産業競争力の相乗効果を育むこと、そのための戦略的投資や規制緩和です。

また、国会を市民主導とするため、水野もとこは、インターネット版【令和世直し目安箱】を運営することを約束します。国会で取り上げるべき課題を広く市民から募り、政策にまとめ、国会などで論議された内容を報告する。夜空にサーッと流れる星のような、皆さんのきらめく一瞬のアイデアを、私はしっかりと受け止めて、実現します。

皆さんは市民感覚が抜け落ちた今の政治に満足していますか？地盤・看板・カバンで政治家になり、政治の世界しか知らない人、お金持ち、テレビタレントのような有名人ばかり。私たちのような労働者や生活者、その悩み苦しみを実際に経験し、心底理解できる政治家が本当に少ないのです。そして、私たち市民が感じている課題への改善策、政策立案の根本となる知恵も、私たち市民の中にこそあるのです。だから、私たち市民が政治を担い、社会をしっかりと変えていく必要があるのです。

地盤・看板・カバンがない市民、私のように子どもや家庭を持つ労働者が政治を志す時の大きな課題は、家計の維持です。そこで私は、市民が政治を担える時代を創るため、在職立候補（立候補休職制度）のスタイルを広めたいと思っています。幸い、私の所属組織ではご理解を頂き、今回在職での立候補となりました。

今の政治は「自分だけ良ければいい、その場しのぎでいい」という身勝手や短絡的な問題の先送りが目につきます。これでは戦後、焼け野原から立ち上がって経済大国を作り上げた諸先輩方の努力を未来につなぐことは出来ません。そして何よりも、未来を担う子どもたちに、負担を負わせてしまいます。

子どもたちの未来のためにも、今ここで、私たちがお腹に力を入れて立ち上がり、何とか日本を、政治を立て直す行動を起こさなければなりません。私水野もとこは、人生 100 年

時代と言われる今後の半生をこれまでの半生の経験を生かして政治の世界で全力を尽くし、日本を成熟社会に向けてさらに進化させ、今と未来の笑顔を守ると決意しました。私は、人生の最期に子どもたちに「こんな日本になっちゃってごめんね」とは言いたくありません。「母さん父さんはやれることは全てやった。日本の将来を頼む！」と胸を張って子どもたちに夢と希望に満ちたバトンを渡そうではありませんか。

最後に、個人的な夢を1つ語らせてください。

宇宙機関で学んだ大きなビジョンと、法政策検討実務のノウハウを政策立案に生かし、技術・産業、それを支える人・法・文化を発展させ、それが達成された暁には、地球市民の一人として、月基地から、青く美しい地球を自分の目で見てみたい。これが私の大切な大切な夢です。

皆さんの大切な夢、願いごとはどんなですか？ ぜひ【令和世直し目安箱】にお寄せくださいませ。

地盤・看板・カバンもなく、選挙まで2カ月しかなく、そして残念ながら党の支持率もない。大変厳しい戦いですが、「宇宙かあさん」水野もとこは「もっとこうしたい！」と、この国を立て直すため、全力で挑みます。どうぞ皆様のご支援を宜しく申し上げます。

【本日放映の動画】

下記 Youtube 上にアップ予定です。

<https://youtu.be/ZaAeLU2fvc>